

—初心者にも優しいネットワークRPG—

MAJESTY

～ Starting ～

Guide

岡村淳司 Junji Okamura



パツと見れば普通のRPGだが……

まずは、MAJESTYがどういったゲームなのかを簡単に説明しておくことにしよう。

MAJESTYは、2000人が同時アクセス可能なサーバー接続型のネットワークRPGだ。プレイヤー側は、クライアントソフトをインストールしてキャラクター作成を行えば、MAJESTYの世界に降り立つことができる。

目的は、題名のとおりMAJESTY(皇帝)になることだ。キャラクターのレベルが9999まで上げられるので、その域にまで到達してから目標を達成することになる。ただし、MAJESTYになれるのは、そのサーバー内で1人だけだ。最終段階までキャラクターを鍛え上げている人だけが見られる栄光ともいえるだろう。

気になる戦闘システムは、当然ながらリアルタイムバトルだ。操作はDiabloの戦い方と同じで、敵の横に立ちターゲットにカーソルを合わせて攻撃ボタン(マウス左ボタン)をひたすらクリックする。

ターゲットにカーソルが合っていればターゲ

MAJESTY

- 価格：無料(オープンβテストは4月1日から)
- 問い合わせ先：システムプロ
☎045-441-4412
<http://www.systempro.co.jp/>
- 動作環境：Windows 95/98, Pentium/90MHz以上(MMX Pentium/166MHz以上推奨), メモリ16MB以上(32MB以上推奨), 空きHDD容量160MB以上
- *正式バージョン以降の料金体系は、オープンβテスト中での発表となります

©1997/1999 PANTECHNET/SYSTEMPRO

248

DOS/V magazine 1999-4.15

最近のPCゲーム市場でブームとなっているのは、インターネットを利用したネットワークゲームである。

その中でも、異世界を舞台にプレイヤーがその住人となってストーリーを展開していく、ネットワークRPGが花盛りである。Diabloに始まり、Ultima Online, LIFESTORM, Dark Eyesと、海外の大手ゲームメーカーだけでなく、国内のゲームメーカーも巻き込んで発展しつつあるジャンルだ。今回紹介する「MAJESTY」は、そのネットワークRPGという世界に、お隣韓国から参入した製品なのである。

ットの周りに白い線でボックスが表示されるので、当てるのは簡単だ。ただし、ほかの人と一緒に殴っていると、敵を倒したときに仲間まで殴ってしまうこともあるので注意。

フィールドは、街や森、溪谷、ダンジョンとさまざまで、Ultima Onlineのような世界にDiabloのシステムを足したような雰囲気がある。

「レベルがすべて」というお気楽さがいい

ほかのRPGと違うのは、ほとんどすべてのアイテムの使用に「レベル」が必要なところ。キャラクターがそのレベルに達していないと使うことができない。また、敵モンスターも、自分のレベルに合った相手でない、物理攻撃では絶対に倒すことができないシステムになっている。

また、ネットワークRPGに付きもののPKへの配慮として、ほかのプレイヤーに殺された場合は死体に荷物が残らないようになっている。モンスターに殺されたときも、他人が自分の死体を漁ることはできない。

荷物の回収に関しても、ゲーム中に用意されている「保険」をかけていれば装備は保険屋から回収できる。保険がなくても(かなり高額なので、相当のアイテムを持っていないとかける意味はないだろう)、死体が消える前に自分の死体を見つけて回収すれば元どおりとなる。このあたりは、Ultima Onlineなどの「初心者フレンドリー」ではないネットワークRPGとは違い、誰にでも気軽に遊びやすいシステムだといえるだろう。Ultima Onlineのような複雑なゲームシステムやDiabloのような爽快感(?)こそ欠けるかもしれないが、自分がどこで何をすればいいかが明確で、最初の一歩さ

え間違えなければ長く付き合っている。

そしてなんといても最大の特徴は、このクライアントソフト(ゲーム本体)が無料だという点だ。ほかにはあまり類を見ないシステムだといえる。本誌次号の付録CD-ROMにも入るし、MAJESTYの発売元であるシステムプロのホームページからダウンロードすることもできる。

ただし今はあくまでもβテスト中で、「製品版」になったときにはサーバー使用料が必要となる。予定では月額1000～2000円の範囲とのことだが、現在はまだ詳細が明らかになっていない。今後の情報に注目だ。

身分昇格

MAJESTYというゲームには、プレイヤーキャラクターに身分というものが用意されている。最初は誰もが「ノービスファイター」だが、レベルを上げていくと、あるレベルから身分昇格のために、試練を受けることができるようになる。

強い敵のエリアを縫って、ダンジョン奥地へ向かうのだ。そうすると、ダンジョンの奥にお爺さんが立っていて、話をすると「ソルジャー」として認められることになる。これが最初の昇格だ。ソルジャーに昇格すると、ログインしている全員にソルジャー昇格が伝えられる。すると、みんなから「おめでとう」と祝福の言葉がもらえるのだ。

殺伐としがちになるネットワークRPGの中で珍しい、ほのぼのとしたMAJESTYの世界を見ることのできる一瞬だ。

～ Starting ～ Guide

最初のコツさえつかめれば面白いように進んでいく MAJESTY だが、通常のRPG慣れしていると、赤いミイズで即死したりして途方に暮れる。ここでは、100レベルあたりまでの指針を示してみた。次ページのマップと併せれば、初期の冒険はバッチリだ！

Step1 初歩練習場へ

MAJESTYの世界に最初に降り立つと、そこはこの世界の中心都市であるアゴラ市だ。まず最初に行くべきことは、自分のキャラクターの弱さを認識することだ。

街には、いたる所に動物やロボット、警備兵などがある。しかし、この世界に降り立った自分は、これらの中で最弱なのだ。間違っても「犬なら倒せそうだ」などと思って攻撃しないように。一瞬であの世行きである。

この時点で自分より弱い動物は、ブルーワームという紫色のミイズである。街にもいるのだが数が少なく、広い街の中を徘徊するハメになって効率よくレベルを上げられない。

では手始めにどうするかというと、街の中心にある、噴水広場へ向かってみよう。

広場の左に、Ultima OnlineのLicheによく似たお爺さんがじっと立っている。彼に話しかけることで、最初の訓練を受けられる初歩練習場へと飛ばされるのだ。

初歩練習場には、ブルーワーム、レッドワーム、アコニアといった順で区域が分かれている。そこで、まずブルーワームを片っ端から殺せば、効率よくレベルを上げていける。

減った体力は、何もしないでじっと立っているだけで自動的に回復する。このクラスの敵は襲ってこないで、無理せず戦うことが重要である。また、このとき忘れてはならないのが、ブルーワームを倒すと時折出てくるお金を拾うことだ。最初のうちはお金を使うことがないので、ひたすら拾って貯金しておくといいだろう。

ここで、レベル10になったらレッドワームも倒せるようになる。そして、そのままレベル12になったら、練習場一番奥にいるお爺さんに話しかけると、次の武器である「ナイフ」を入手できるのだ。

ナイフを手に入れたら、とりあえず初歩練習場は卒業。ナイフ片手に街へ戻ろう。

Step2 初期魔法取得まで

次にやるべきことはさらなるレベルアップ。その前に、自分の装備を固めておこう。

武器に関しては、お爺さんからもらったナイフが、装備できるものの中での最強となるので、ここでは防御を固めるべく防具屋へ行くことにする。防具屋では鎧や盾を売っているが、このほかに、街の北にある雑貨屋でグローブと小手、ブーツが、街の西にある雑貨屋ではヘルメット系の装備が購入できる。

それぞれのお店で、レベル12で装備できるアイテムを購入したら、忘れずに装備して準備完了。ここからのレベルアップは、根性で上げていくことになる。

街にいる茶色い犬「ストレイドッグ」を探し、ひたすら叩いて倒す。出現ポイントはある程度決まっているので、まずは散らばっているストレイドッグを倒し、出現ポイント近くで、新たに湧くの待って倒す。この作業をレベル20までやったら、武器を「ダガー」へと変更。ダ



決まった場所にたまに出現する「幸運の蛇」。倒すと一気にレベルアップ！

ガーを購入すれば攻撃力が上がるし、レベルアップで防御力のベースも上がっているの、ストレイドッグより強い、白い犬の「ダルメシアン」も倒せるだろう。

ただし「犬系」はお金を持っていないので、ダルメシアンで少しレベルを上げて、お金の稼げる場所へ行くとよいだろう。

その場所は、街の西門をくぐった先の「グリーンアコニア」ポイントである。ここでお金を稼ぎつつ、レベルを32まで上げていく。レベル32になれば、最初の魔法である「ファーストエイド」を覚えられるのだ。

このファーストエイドは回復系の魔法で、精神力を300消費して自分の体力をある程度回復してくれる。本と習得に2万3000Dina (Dina=MAJESTYの貨幣単位) ずつお金がかかるので、5万Dinaは持っていたいところ。

魔法は本を買うだけではない。覚えたい魔法を本屋で購入し、呪術師の家でお婆さんに教わる必要がある。これで初期魔法ファーストエイドを習得だ。

Step3 攻撃魔法取得まで

回復魔法を手に入れられれば、先に進むのが楽になる。そこで、グリーンアコニアの先にある、レッドウッドの森へ赴くことにしよう。このときの目標レベルは32。武器はダガー、装備は皮の鎧などで、次の装備まではまだまだレベルが足りない。

しかし、レッドウッドの森に入っただけの亀「コモラ」と、森にいる雌鹿は襲ってこないで、自然回復をしながら戦え、レベルアップに絶好だ。

どちらもなかなか当初は手強いが、雌鹿のほうがもらえる経験値が亀より多く、持っているお金も多い。ファーストエイド取得でお金を使いきっている可能性があるの、資金稼ぎにもバッチリだ。ここでひたすら雌鹿を倒して経験値を稼ぎ、貯金10万Dina、レベル54まで上げておくのが目的である。

これでお金が貯まったら、本屋で「ファイアボール」の本を購入して習得すべし。



回復魔法がないとかなり痛い雌鹿。図体が大きいから攻撃は当てやすいが

レベルアップを効率良く

本文中でも述べているが、グループを組むと効率よくレベルを上げることができる。魔法を使うようになると、それがさらに加速されるのだ。

例えばファイアボールを覚えると、安全地帯から敵を倒すことができるようになる。1人だと精神力が続かないので、1匹の敵を倒すにも(精神力を回復しながら)時間をかけて倒すことになるが、グループを組んでいれば、みんなで一斉に攻撃してあっさり倒すことができる。

つまり、安全地帯とファイアボールで、いきなり強い敵を倒すことも可能なのである。強い敵ならば当然経験値も多いので、仲間が揃っているときには効果的なレベルアップを望めるというものだ。



小熊は、だいたいファイアボール6発で仕留められる。街からも近いし、グループで小熊1匹当たり経験値449手に入る。5人ならば1人が1発よけに撃つだけで、みんながこれだけの経験値を稼げるので非常にお得だ

Step4 初めての襲ってくる敵

ファイアボールの魔法を覚えたら、ネオタランチュラを相手にレベルアップを行う。

ネオタランチュラは小さい蜘蛛なのでターゲットしづらく、攻撃力もかなり高い。細心の注意が必要だ。

直接叩いて倒すのがツライ場合には、ネオタランチュラのエリアに入る手前で、襲ってこないエリアから、ファイアボールを打ち込んで倒すという方法を並行して使うといいだろう。レベルが65を超えたあたりから1体ずつなら安全に叩いて倒せるようになり、レベル75を超えたあたりで、囲まれても1人で対処できるようになる。

また、効率よくレベルを上げたいならば、同じようなレベルの人と5人までのグループを組んで一緒に狩りをすれば、お金と経験値を稼ぐのが容易になるだろう。

このグループというのはMAJESTY独特の概念で、通常1人で倒してもらえらる経験値が900の敵を、2人で2匹倒すと合計950くらいもらえるというお得なシステムだ。これが5人集まればさらに素早くかつ効率的に敵を倒せ、早くレベルを上げていけるようになる。また、どんなに離れていても同じグループの人の会話は届くので、お互いに情報交換をしつつ進めていくことができる。ぜひとも活用したい機能の一つだ。

ちょうどネオタランチュラを倒すあたりから厳しい展開を強いられるはずなので、周りの人に声をかけてグループを組むといいだろう。そうこうしているうちに、レベルも80を超えることができるはずだ。レベル88になれば、装備を変更することもできる。仲間もでき、これからの戦いがより楽しくなっていくことだろう。

Look Ahead ~その先へ~

毎日同じようにパーティを組んで遊んでいると、必ず特定のメンバーができてくる。レベルが似通っているから起こるべくして起こる現象なのだが、これが重要。

1人でプレイしていると、あまり危険なところへは行くことができない。仲間の援護があってこそ、初めて危険な冒険もできるものなのだ。そのため、初期のころに仲間になったメンバーは大事なのである。そういったメンバーとお互いに鍛え合っていくことで、より結束の強い、そしてレベルの高いパーティを組むことが

できるようになるのだ。冒険を進めていくうちに、おなじみのメンバーと、効率よくレベルの上げられるポイントを見つけることもできるだろう。



我がクランマスターであるドドンガ氏の呼びかけにより、βユーザーが集まって記念撮影。見えないけど100人いるのだ



酒場1
酒場か八百屋かよく分からない品揃え。お酒はやっぱり20歳かららしい

アイテム	使用可能レベル	値段
カブリビール	20	600
生ビール「ライブ生」	200	1700
あやしい缶ジュース	400	2700
帰還のりんご	10	2000
スイカ	85	1200
いちご	40	1000
たまご	1	500
バナナ	3	6000



アイテム	使用可能レベル	値段
皮の服	1	1000
皮のよろい	12	4700
なめし皮のよろい	85	7890
コート	240	13000
銅のよろい	370	19950
木の盾	12	2100
皮の盾	88	5400
豪華な盾	245	19000
銅の盾	380	54000

防具屋



初歩練習場
最初にごやっかいになる施設。中にはミズがいっぱいだ



呪術師の家

本屋で魔法の本を買ったら、ここへきて内容を教えてもらおう。一度覚えた呪文は、死んでアイテムをロストしても失わない



病院

ゲームのスタート位置にして、死んだら転送される場所。復活でお世話になる設備は、誰がどう見ても拷問器具なのだが……



雑貨屋1

バンダナや帽子、兜など頭部の防具が充実した店。バンダナって本当に防具になるんだろうか……

アイテム	使用可能レベル	値段
たいまつ	100	1340
ランプ	200	2450
バンダナ	12	900
布の帽子	46	1900
皮の帽子	85	6900
フルフェイス	230	9400
銅のかぶと	370	13000
水晶のネックレス	90	3200
黒いマント	150	3780
ネックレス	240	7800
銅のネックレス	350	13200



噴水と「初歩練習場」に飛ばしてくれるお爺さん

雑貨屋2 (←)

靴や箆手、グローブなどの防具が充実。「皮のくつ」より「長靴」のほうが弱そうなのは気のせい?



レストラン2

お金はまあまあ入手しやすいゲームなので、体力回復が待ちきれない短気な人は、冒険初期ならここで「たまご」を買っておくことをお勧めする

アイテム	使用可能レベル	値段
たまご	1	500
オレンジ	145	1500



アイテム	使用可能レベル	値段
皮のくつ	1	450
長靴	12	900
皮のブーツ	90	1450
カッパーブーツ	350	12900
皮のこて	20	1200
はがねのこて	90	2600
ルーンのこて	360	12900
手袋	12	1100
皮の手袋	46	1500
青いグローブ	90	2300
緑のグローブ	140	2800
メタルグローブ	245	3500
カッパーグローブ	380	5300



酒場2

こちらはちょっと高級に(?)白ワインなど。でもやっぱり八百屋兼任

アイテム	使用可能レベル	値段
白ワイン	290	2000
ピザ	800	2600
ピスタチオ	310	2500
いちご	40	1000
スイカ	85	1200
オレンジ	145	1500



カジノ

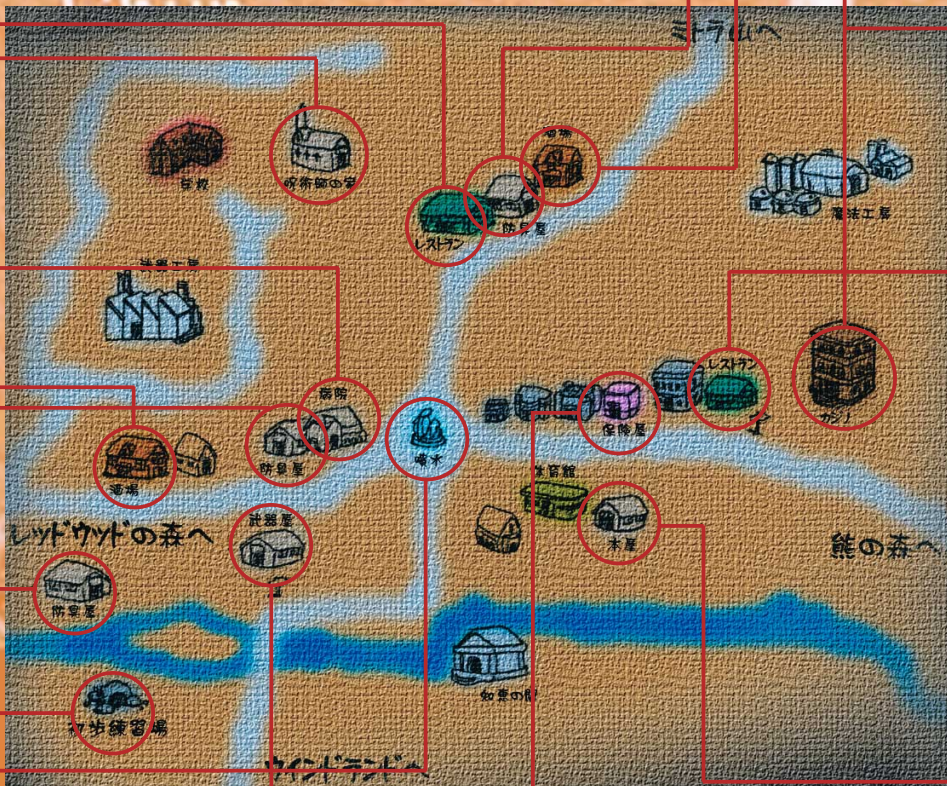
冒険者の憩いの場所、または近づかないほうがいい場所。担当編集者は、一時期ここに入り浸って大変なことに……



レストラン1

料理らしい料理は何一つ売ってないレストラン。韓国産ゲームらしく、唐辛子は充実の3種類

アイテム	使用可能レベル	値段
あやしいたまご	35	1200
唐辛子	120	1800
青唐辛子	160	2000
燃える唐辛子	210	2200
不思議なたまご	85	1500
ピスタチオ	310	2500
ブラウンマッシュルーム	740	3200



アイテム	使用可能レベル	値段
こん棒	1	1200
ナイフ	12	3800
ダガー	20	6900
大鎌	46	8600
なまくら刀	88	13000
折れた剣	150	35000
鉄球	245	88000
ツインジャベリン	300	120000
ウォーハンマー	300	140000

武器屋



保険屋

万が一、死んでロストしたりしたら泣くに泣けないようなアイテムがあったら、ここで保険に入っておくとよい。確実にアイテムを戻してくれる。しかし異様に高額な保険料なので(しかも掛け捨て)、冒険初期のころはまったく縁がない場所だろう

本屋

ここで魔法の書物を購入すれば冒険がラクになる。しかしいくらなんでも高くないか? この本……

アイテム	使用可能レベル	値段
ファーストエイドの呪文書	32	23000
ファイアボールの呪文書	54	46700
ヒーリングの呪文書	450	75000
タイムシールドの呪文書	200	150000



最初の街「アゴラ市」全マップ